

スーパーマーケット販売統計調査資料

2015年6月実績 速報版(パネル275)

5月実績 確報版

(7月21日公表)

調査資料概要

【パネル集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

※2015年4月実績よりパネル対象企業変更(285社→275社)

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーカーリー、ファーストフード	
	日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム		
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2015年7月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2015年6月実績 速報版 (パネル275)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	84,105,367	100.0%	103.2%	101.1%
食品合計	73,453,870	87.3%	103.8%	101.5%
生鮮3部門合計	27,638,273	32.9%	105.6%	103.2%
青果	11,428,241	13.6%	108.1%	105.8%
水産	7,205,578	8.6%	103.3%	100.9%
畜産	9,004,455	10.7%	104.5%	101.9%
惣菜	7,897,240	9.4%	105.2%	102.3%
日配	15,779,286	18.8%	102.8%	100.7%
一般食品	22,139,070	26.3%	101.6%	99.7%
非食品	7,534,998	9.0%	99.1%	98.2%
その他	3,116,500	3.7%	97.8%	97.9%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	13,137,650	49	102.0%	99.6%
関東地方	30,041,953	70	104.0%	101.6%
中部地方	9,935,149	58	102.5%	100.0%
近畿地方	17,742,674	34	102.9%	101.2%
中国・四国地方	8,157,600	36	103.9%	101.6%
九州・沖縄地方	5,090,342	28	103.2%	102.6%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	899,283	56	99.6%	100.5%
4~10店舗	3,625,764	68	101.7%	101.5%
11~25店舗	9,809,076	64	102.0%	99.9%
26~50店舗	15,184,156	45	103.5%	100.9%
51店舗以上	54,587,089	42	103.5%	101.3%

集計企業数 (社)	275	既存店総売上高 (万円)	81,557,700
総店舗数 (店舗)	7,425	店舗平均月商 (万円)	11,327
総売場面積 (㎡)	12,624,442	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.7

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2015年7月21日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2015年5月実績 確報版 (パネル275)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	87,572,045	100.0%	107.3%	105.2%
食品合計	77,157,294	88.1%	107.6%	105.2%
生鮮3部門合計	29,344,791	33.5%	108.9%	106.4%
青果	12,283,030	14.0%	112.1%	109.7%
水産	7,651,948	8.7%	105.6%	103.0%
畜産	9,409,813	10.7%	107.7%	104.9%
惣菜	8,483,584	9.7%	108.9%	106.0%
日配	16,635,527	19.0%	106.4%	104.2%
一般食品	22,693,393	25.9%	106.1%	104.1%
非食品	7,197,825	8.2%	106.3%	106.0%
その他	3,216,926	3.7%	103.5%	103.2%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	13,845,565	49	106.7%	104.9%
関東地方	31,243,287	70	108.0%	105.5%
中部地方	10,614,366	58	108.5%	105.6%
近畿地方	17,887,376	34	106.0%	104.6%
中国・四国地方	8,767,950	36	108.6%	106.0%
九州・沖縄地方	5,213,501	28	104.9%	104.5%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	946,491	56	101.7%	103.0%
4~10店舗	3,799,511	68	103.8%	103.7%
11~25店舗	10,217,735	64	105.1%	103.3%
26~50店舗	15,792,392	44	107.6%	105.0%
51店舗以上	56,815,916	43	107.9%	105.7%

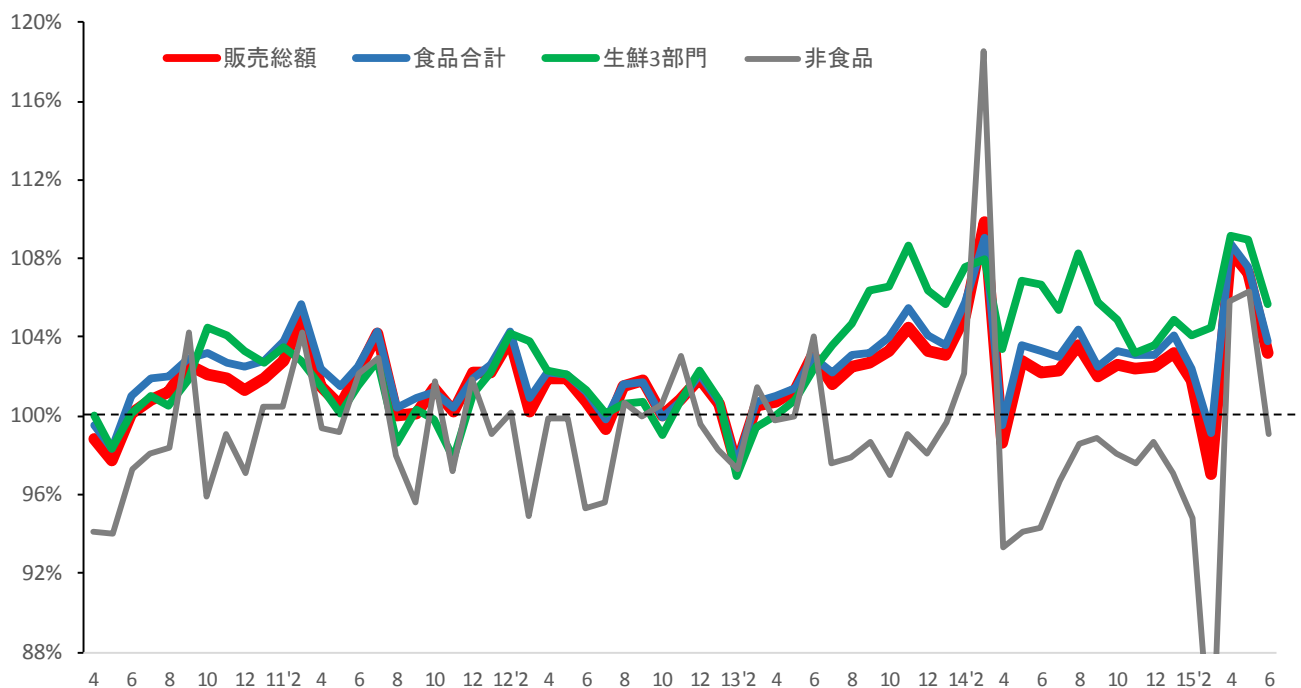
集計企業数 (社)	275	既存店総売上高 (万円)	84,910,767
総店舗数 (店舗)	7,415	店舗平均月商 (万円)	11,810
総売場面積 (㎡)	12,597,821	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.0

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2015年6月(全店ベース対前年同月比)

販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品

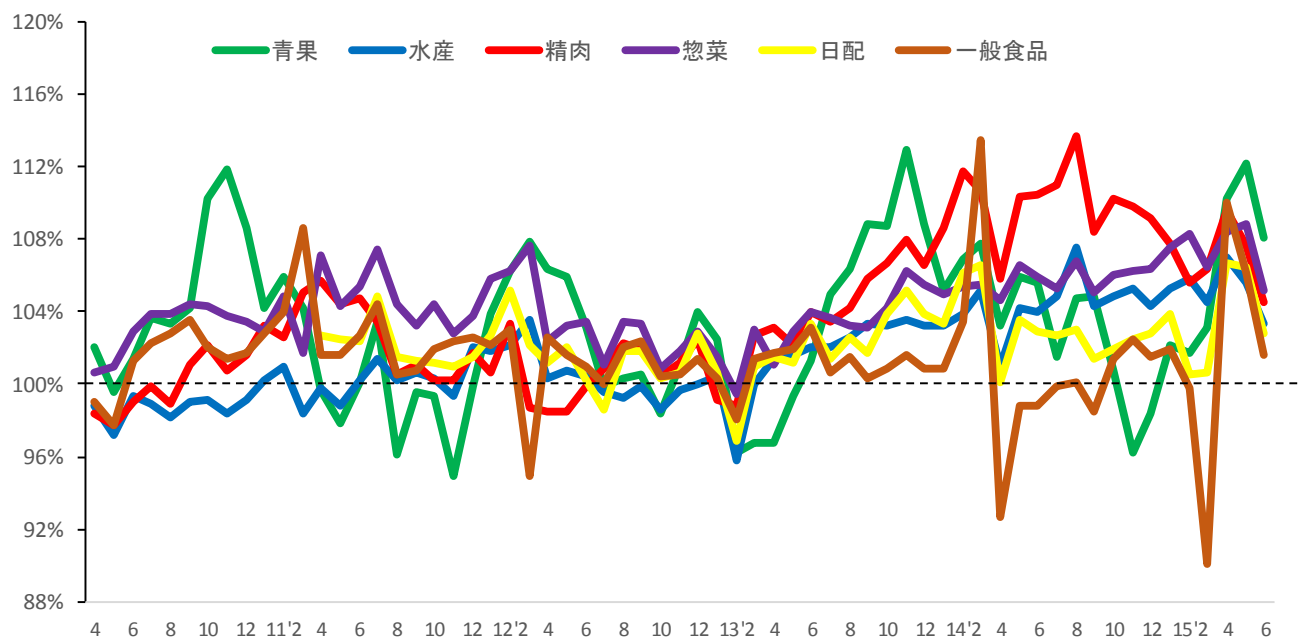


※2010年4月～2015年5月までは確報版による前年同月比、2015年6月は速報版による前年同月比

※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2015年6月(全店ベース対前年同月比)

青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2015年5月までは確報版による前年同月比、2015年6月は速報版による前年同月比

※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

2015年6月エリア別気候状況

1. 平均気温

平年との比較：全国的に月を通してほぼ平年並みの気温となった

2014年6月との比較：前年との比較では、上旬で東日本ほど低い気温となった

	平年との比較(°C)						今年と前年との差(°C)		
	2015年6月			2014年6月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	0.4	1.1	-1.3	3.6	0.1	1.6	-3.2	1.0	-2.9
東北地方	0.7	1.7	0.3	3.0	1.1	1.2	-2.3	0.6	-0.9
関東甲信地方	0.2	0.7	0.2	1.6	1.2	0.4	-1.4	-0.5	-0.2
北陸地方	0.1	1.7	-0.3	3.3	0.5	0.6	-3.2	1.2	-0.9
東海地方	-0.5	0.0	-0.9	1.5	0.7	0.3	-2.0	-0.7	-1.2
近畿地方	-0.7	0.2	-0.5	1.8	0.1	0.1	-2.5	0.1	-0.6
中国地方	-0.6	0.4	-0.7	1.5	-0.2	0.2	-2.1	0.6	-0.9
四国地方	-0.5	-0.6	-0.8	0.7	-0.5	-0.7	-1.2	-0.1	-0.1
九州北部	-0.5	-0.5	-1.0	0.5	-0.9	-1.1	-1.0	0.4	0.1
九州南部・奄美地方	0.4	-0.3	-1.7	0.1	-1.0	-1.9	0.3	0.7	0.2

平年差

+2°C以上
+1°C以上

-2°C以上
-1°C以上

前年差

+2°C以上
+1°C以上

-2°C以上
-1°C以上

2. 日照時間

平年との比較：上旬と中旬は西日本で短く、下旬は北海道や九州南部で短くなった

2014年6月との比較：上旬はほぼ前年なみ、中旬は短い地方が多く、下旬は北日本を中心に短くなった

	日照時間 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2015年6月			2014年6月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	81	128	45	135	21	144	-54	107	-99
東北地方	114	111	107	102	72	143	12	39	-36
関東甲信地方	99	84	152	80	157	116	19	-73	36
北陸地方	97	107	147	106	102	185	-9	5	-38
東海地方	79	65	126	97	145	130	-18	-80	-4
近畿地方	80	69	125	80	107	129	0	-38	-4
中国地方	88	71	131	43	94	143	45	-23	-12
四国地方	72	47	95	57	97	106	15	-50	-11
九州北部	73	46	103	44	76	110	29	-30	-7
九州南部・奄美地方	70	59	47	80	70	57	-10	-11	-10

平年差

平年比150%以上
平年比125%~149%

平年比50%以下
平年比51%~75%

前年差

+50%以上
+25~49%

-50%以下
-25~-49%

3. 降水量

平年との比較：全国的に上旬はかなり降水量が多く、中旬と下旬では少ない地方が多かった

2014年6月との比較：上旬は前年に比べ降水量が多い地方が多く、中旬下旬もやや多くなった

	降水量 平年比(%)						今年と前年との差(%)		
	2015年6月			2014年6月(前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	252	21	147	57	335	20	195	-314	127
東北地方	101	46	138	129	183	67	-28	-137	71
関東甲信地方	268	98	59	415	95	94	-147	3	-35
北陸地方	146	42	46	20	143	48	126	-101	-2
東海地方	237	58	80	149	25	36	88	33	44
近畿地方	205	76	65	59	26	38	146	50	27
中国地方	184	59	89	128	77	21	56	-18	68
四国地方	279	144	50	209	53	67	70	91	-17
九州北部	299	120	57	57	61	57	242	59	0
九州南部・奄美地方	269	210	238	174	80	228	95	130	10

平年差

平年比150%以上
平年比125%~149%

平年比50%以下
平年比51%~75%

前年差

+50%以上
+25~49%

-50%以下
-25~-49%

気象庁ホームページより引用

平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均

スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2015年7月調査結果（6月実績）

（7月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

7月調査（6月実績）結果概況

景気判断DIは2ヵ月連続で下降も、現状判断は50を上回る水準を維持

6月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から-3.5の51.4、見通し判断前月から-2.1の49.2となり、2ヵ月連続で下落した。現状判断は依然として50を上回る水準を維持しているものの、見通し判断はわずかに50を下回った。

経営動向調査結果では、日曜が一日少ない影響や天候不順で来客数DI-4.5（-7.9）が減少したことに加え、気温が前年に比べ低く推移した影響を受け、売上高DI2.7（-11.7）、収益DI2.2（-7.3）と大きく減少する結果となった。生鮮仕入原価DI、食品仕入原価DIが高止まりを受けて、販売価格DIは高水準を維持しているが、客単価DIは9.2（-5.0）とやや減少した。

カテゴリ動向結果も同様に前述の影響を受け、すべてのカテゴリでDIが大きく減少する結果となった。（個別のカテゴリ動向については最終ページに掲載）

景況感調査は全体的に低調な結果となっているが、4月と5月の追い風から、6月は一転して逆風にみまわれたなかで、落ち込み幅は比較的小さく、競合状況DIを除けば、いずれも50前後の水準を維持している。特に店舗周辺地域景気判断DIは前月とほぼ同水準となっていることから、12月以降の堅調なトレンドは引き続き維持されていると考えられる（周辺地域景気動向DI長期傾向参照）。

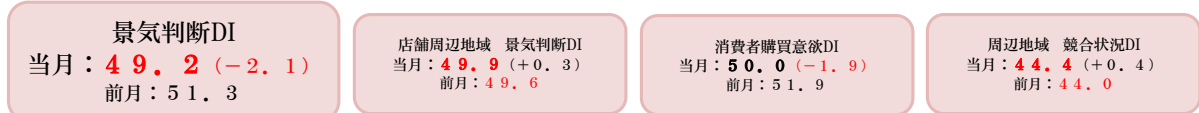
一方で、今夏はエルニーニョ現象の発生による冷夏や豪雨等の異常気象が警戒されており、その影響は今後のリスク要因として懸念される。

景況感調査

現状判断

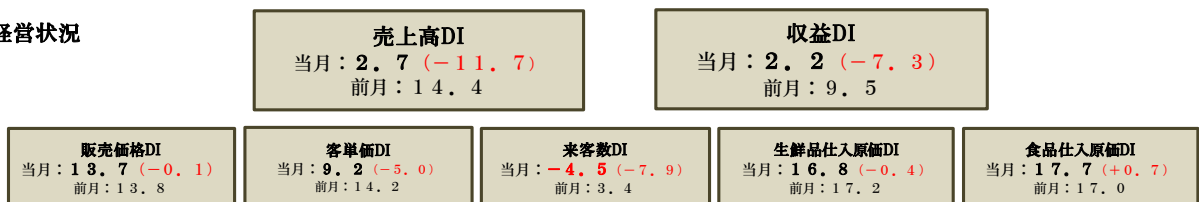


見通し判断

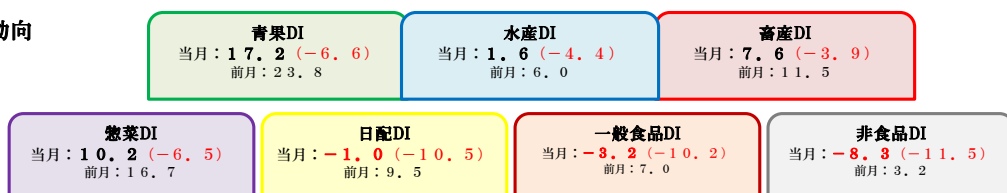


経営動向調査

経営状況



カテゴリ動向



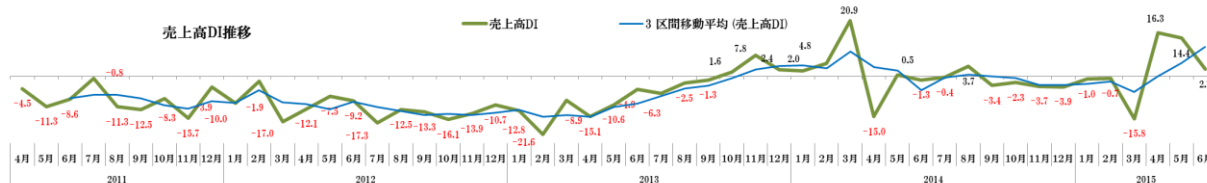
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

7月調査（6月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

引き続きプラスを維持も大きく下落

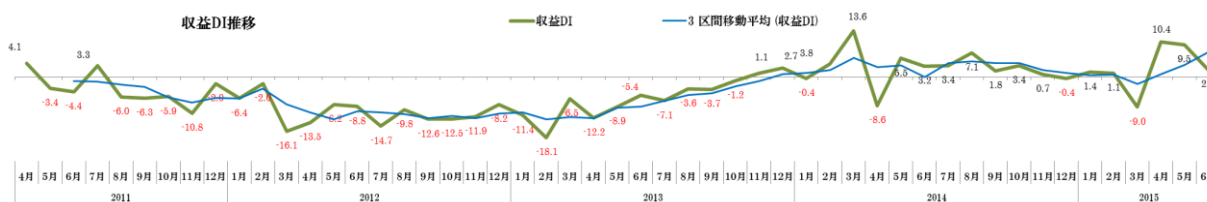
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	1.8	12.8	19.9	57.1	8.4	14.4
売上高（当月）	3.9	24.7	30.9	37.6	2.8	2.7



2. 収益DI

引き続きプラスを維持も大きく下落

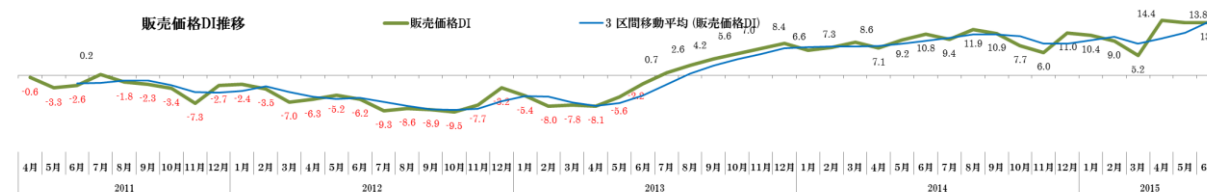
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	3.2	12.2	34.7	43.7	6.3	9.5
収益（当月）	5.7	23.0	33.3	32.8	5.2	2.2



3. 販売価格DI

仕入れ価格の上昇により高水準を維持し、23ヵ月連続のプラス

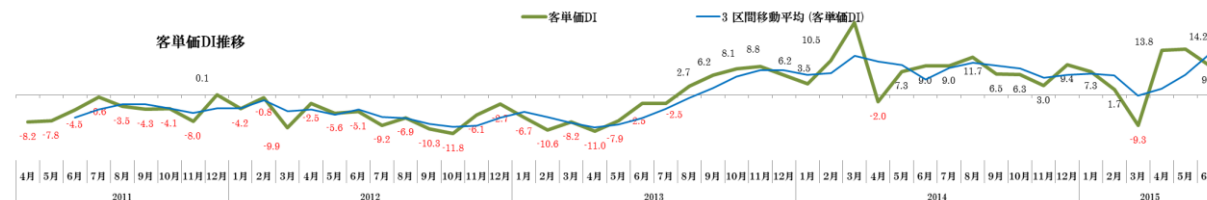
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.0	4.0	37.5	57.6	0.9	13.8
販売価格（当月）	0.0	5.1	34.9	60.0	0.0	13.7



4. 客単価DI

引き続き高い水準を維持するもやや下降

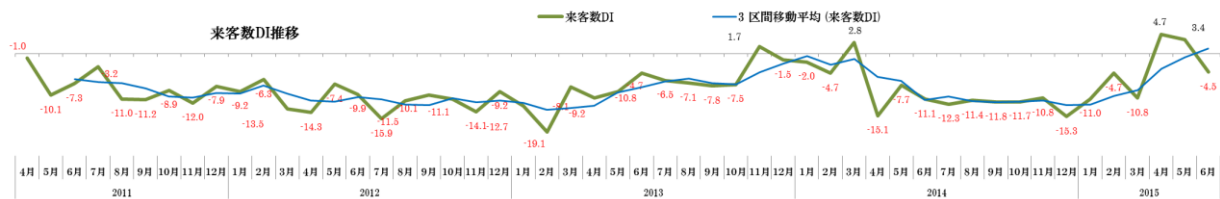
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.0	6.7	31.6	60.0	1.8	14.2
客単価（当月）	0.0	14.7	34.5	50.3	0.6	9.2



5. 来客数 DI

2ヵ月連続のプラス圏内からマイナス圏に下落

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	4.4	22.6	32.3	36.3	4.4	3.4
来客数 (当月)	4.0	38.1	30.7	26.7	0.6	-4.5



6. 生鮮仕入原価 DI

青果・畜産・水産の相場高により高水準を維持

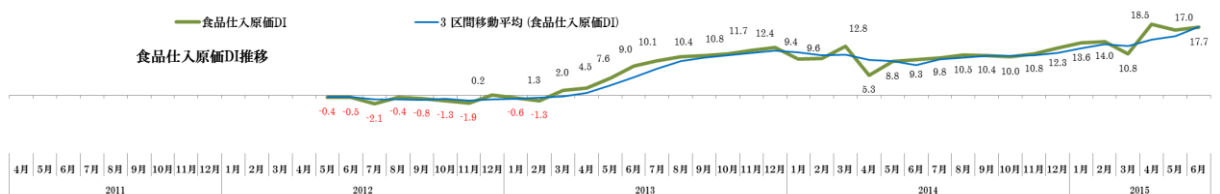
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.5	2.7	30.5	60.5	5.9	17.2
生鮮仕入原価 (当月)	0.6	4.0	28.3	61.8	5.2	16.8



7. 食品仕入原価 DI

引き続き高水準を維持

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.4	2.3	27.3	65.0	4.1	17.0
食品仕入原価 (当月)	1.1	2.9	24.1	67.8	4.0	17.7

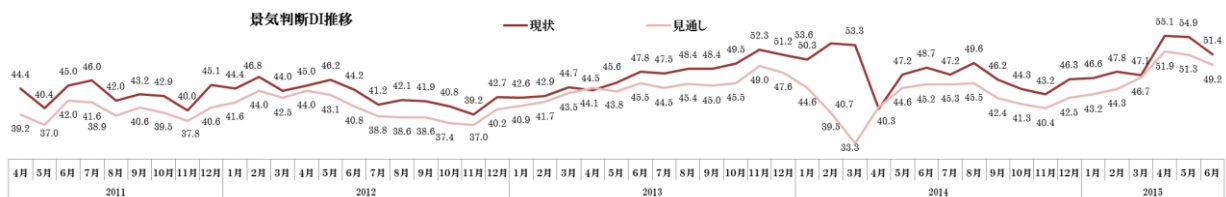


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景況判断のみ 2010年4月～)

1. 中核店舗景況判断 DI

2ヵ月連続で現状・見通し判断ともに下落、見通し判断は50を割り込む

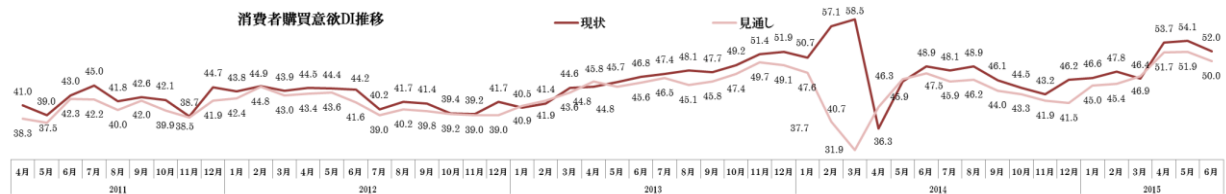
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	1.8	5.8	63.7	28.3	0.4	54.9
【現状】景況判断 (当月)	1.1	13.6	65.0	19.2	1.1	51.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	2.2	12.9	63.1	20.9	0.9	51.3
【見通し】景況判断 (当月)	1.1	18.5	63.5	16.3	0.6	49.2



2. 消費者購買意欲 DI

現状・見通し判断ともに下落

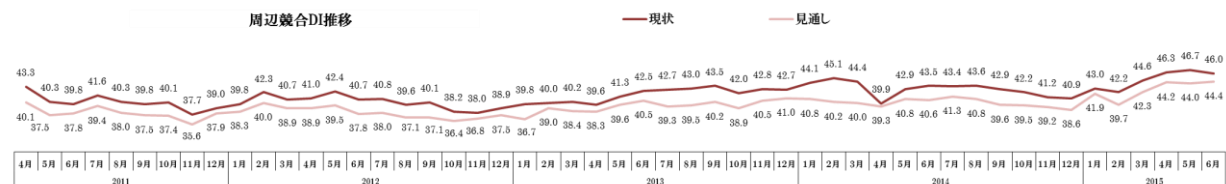
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	1.3	6.2	67.6	24.4	0.4	54.1
【現状】購買意欲 (当月)	0.6	10.7	69.5	18.6	0.6	52.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	1.3	7.6	74.2	16.0	0.9	51.9
【見通し】購買意欲 (当月)	0.6	12.9	73.0	12.9	0.6	50.0



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

大きな変化はなく横ばい傾向

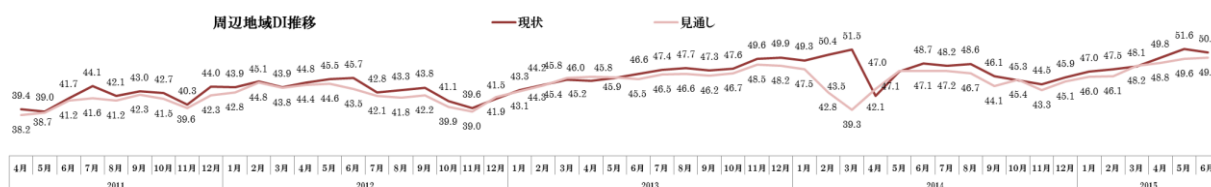
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	2.7	15.6	74.2	7.6	0.0	46.7
【現状】競合状況 (当月)	1.1	18.6	75.1	5.1	0.0	46.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	5.3	17.8	72.4	4.4	0.0	44.0
【見通し】競合状況 (当月)	3.4	19.7	73.0	3.9	0.0	44.4



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断は小幅な下落も、見通し判断は堅調さを維持

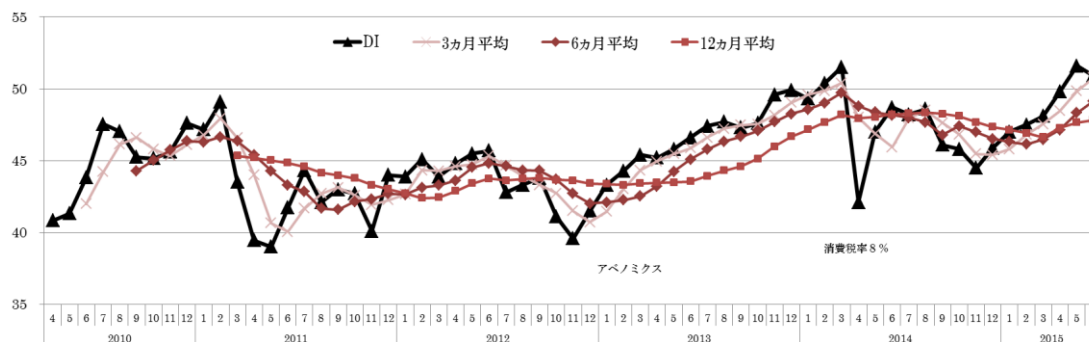
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.9	6.7	77.7	14.7	0.0	51.6
【現状】地域景気(当月)	0.0	6.3	84.1	9.7	0.0	50.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.9	10.8	77.6	10.8	0.0	49.6
【見通し】地域景気(当月)	0.0	9.0	82.5	8.5	0.0	49.9



長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を一本調子に続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。その後、5月に持ち直すものの、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月では再び下落となった。消費税率引き上げ後、3ヵ月周期でトレンドが変化し、方向感の見えにくい状況であったが、12月以降は6ヵ月連続の改善となり、2010年の調査開始以降で最高水準にまで上昇をみせた。直近では、現状判断は小幅に下降したものの、見通し判断は小幅な上昇となっている。いずれの移動平均線もプラスで推移を続けており、依然として堅調な推移を維持していると考えられる。

現状判断 (中長期傾向)



見通し判断 (中長期傾向)



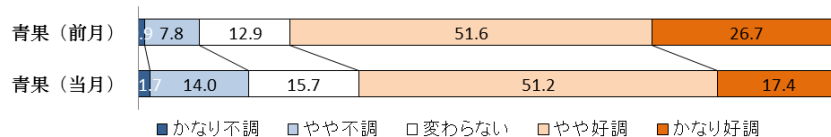
Ⅲ. カテゴリー別動向

カテゴリー別動向 DI による好不調判断

かなり好調：20 以上・好調：10～20・やや好調：0～10

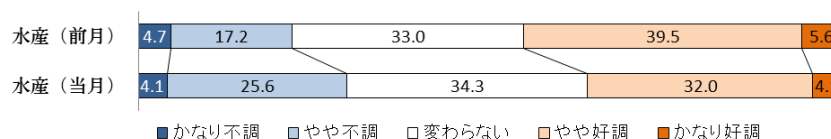
かなり不調：-20 以下・不調：-20～-10・やや不調：-10～0

1. 青果 DI：17.2（好調）



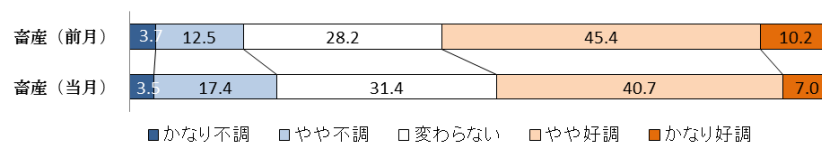
青果相場や果実が高値で推移した影響により好調となった。野菜については特に葉物野菜が高騰しており、販売数量が維持されたかどうかによってやや判断がわかれている。比較的相場の安定している菌類を好調にあげるコメントが多い。果実に関しては、カットフルーツを含め好調とするコメントが多くみられた。

2. 水産 DI：1.6（やや好調）



前年に比べると気温がやや低くなったことで、刺身類などが不調であった一方で、うなぎは好調とするコメントが多くみられた。日曜日が一日少ない影響を受けた店舗も多くみられた。

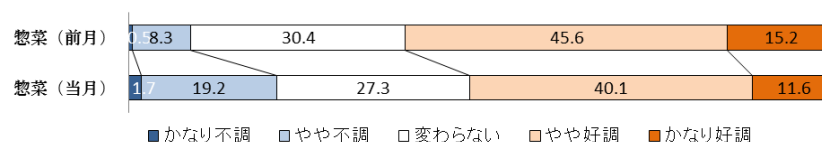
3. 畜産 DI：7.6（やや好調）



精肉相場が高い状況が続いており好調となっている。相場の高い牛肉に代わり、豚肉や鶏肉が好調とのコメントが多くみられた。日曜日が一日少ない影響を受けた店舗も多くみられた。

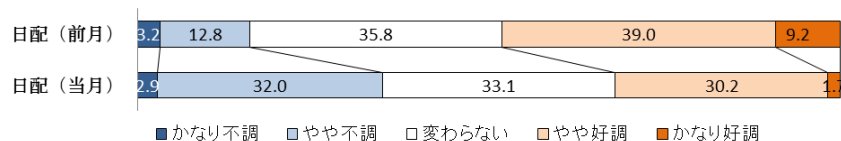
4. 惣菜 DI：10.2（好調）

天候不順や気温の変化により、好不調まちまちの結果となっているが、各社とも新メニューや夕方出来立て等の取組み成果がみられている店舗もみられる。人手不足により対応が難しいというコメントも散見されている。



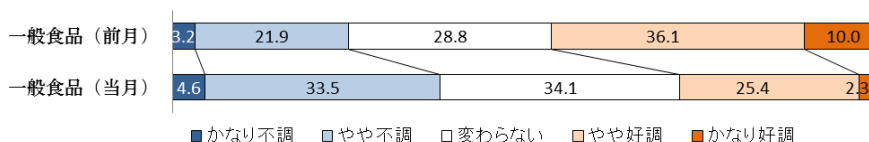
5. 日配 DI：-1.0（やや不調）

前年に比べると気温がやや低くなったことで、アイスクリームをはじめとする夏物商材が不振となった一方で、前年不振だった商品は好調となったものの、天候不順や日曜日が一日少ない影響による客数の減少でカテゴリー全体ではやや不調となった。



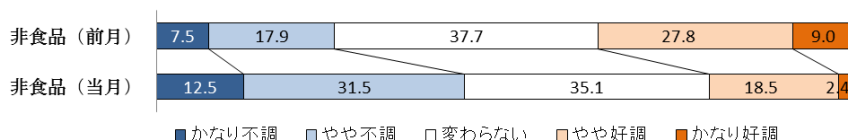
6. 一般食品：-3.2（やや不調）

前年に比べると気温がやや低くなったことで、飲料をはじめとする夏物商材が不振となり、加えて米の単価下落の影響をうけた。天候不順や日曜日が一日少ない影響による客数の減少でカテゴリー全体ではやや不調となった。



7. 非食品 DI：-8.3（やや不調）

前年に比べると気温がやや低くなったことで、夏物衣料や殺虫剤等の夏物商材が不振となり、天候不順や日曜日が一日少ない影響による客数の減少でカテゴリー全体ではやや不調となった。他業態との価格競争の厳しさを指摘するコメントが多くみられた。



2015年7月調査（6月実績）キーワード TOP3

1. 天候不順（降水、前年より気温低下）
2. 日曜日が一日少ない
3. 地方プレミアム商品券

スーパーマーケット景気動向調査

6月実績速報版集計 178社

5月実績確報版集計 226社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp